

合流式下水道緊急改善事業 事業評価シート(事後評価)

評価実施年月:平成28年2月

1. 対象事業	大竹市合流式下水道緊急改善計画																																							
2. 事業主体名称	大竹市																																							
3. 計画期間	平成22年度 ~ 平成25年度																																							
4. 対象事業の進捗状況	<p>下記の内容について、当初計画どおりに実施し完了した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・汚濁負荷量の削減 <ul style="list-style-type: none"> →雨水滞水池の設置 ・公衆衛生上の安全確保 <ul style="list-style-type: none"> →雨水滞水池の設置 ・きょう雑物の削減 <ul style="list-style-type: none"> →対応済み(スクリーン設置) 																																							
5. 目標達成状況と達成の見通し	<p>改善目標</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>改善項目</th> <th>改善目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①汚濁負荷量の削減</td> <td>当該合流式下水道を分流式下水道と置き換えた場合に排出する汚濁負荷量と同程度(いわゆる分流式下水道並み)とする</td> </tr> <tr> <td>②公衆衛生上の安全確保</td> <td>全ての吐口において、未処理放流回数を半減させる</td> </tr> <tr> <td>③きょう雑物の削減</td> <td>全ての吐口において、きょう雑物の流出を極力防止する</td> </tr> </tbody> </table> <p>目標に対する達成状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>改善項目</th> <th>評価指標</th> <th>改善前</th> <th>改善目標</th> <th>改善後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">①汚濁負荷量の削減</td> <td>年間放流負荷量</td> <td>115.7t/年</td> <td>90.2t/年</td> <td>89.3t/年</td> </tr> <tr> <td>未処理下水の放流回数</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">②公衆衛生上の安全確保</td> <td>小島汚水中継ポンプ場</td> <td>40回</td> <td>20回</td> <td>15回</td> </tr> <tr> <td>和木ポンプ場</td> <td>41回</td> <td>20回</td> <td>17回</td> </tr> <tr> <td>③きょう雑物の削減</td> <td>スクリーン設置割合</td> <td>100%</td> <td>100%</td> <td>100%</td> </tr> </tbody> </table>				改善項目	改善目標	①汚濁負荷量の削減	当該合流式下水道を分流式下水道と置き換えた場合に排出する汚濁負荷量と同程度(いわゆる分流式下水道並み)とする	②公衆衛生上の安全確保	全ての吐口において、未処理放流回数を半減させる	③きょう雑物の削減	全ての吐口において、きょう雑物の流出を極力防止する	改善項目	評価指標	改善前	改善目標	改善後	①汚濁負荷量の削減	年間放流負荷量	115.7t/年	90.2t/年	89.3t/年	未処理下水の放流回数				②公衆衛生上の安全確保	小島汚水中継ポンプ場	40回	20回	15回	和木ポンプ場	41回	20回	17回	③きょう雑物の削減	スクリーン設置割合	100%	100%	100%
改善項目	改善目標																																							
①汚濁負荷量の削減	当該合流式下水道を分流式下水道と置き換えた場合に排出する汚濁負荷量と同程度(いわゆる分流式下水道並み)とする																																							
②公衆衛生上の安全確保	全ての吐口において、未処理放流回数を半減させる																																							
③きょう雑物の削減	全ての吐口において、きょう雑物の流出を極力防止する																																							
改善項目	評価指標	改善前	改善目標	改善後																																				
①汚濁負荷量の削減	年間放流負荷量	115.7t/年	90.2t/年	89.3t/年																																				
	未処理下水の放流回数																																							
②公衆衛生上の安全確保	小島汚水中継ポンプ場	40回	20回	15回																																				
	和木ポンプ場	41回	20回	17回																																				
③きょう雑物の削減	スクリーン設置割合	100%	100%	100%																																				
6. 対象事業の整備効果の発現状況	<p>●本市における平均的な降雨に対する整備効果の発現状況は、計算上、下記の通りである。</p> <p>①汚濁負荷量の削減 →改善目標である90.2t/年に対し、対策後89.3t/年であり、達成率は104%である。</p> <p>②公衆衛生上の安全確保 →改善目標である20回に対し、大竹15回、和木17回となっている。</p> <p>③きょう雑物の削減 →小島雨水排水ポンプ場吐口、和木ポンプ場吐口にスクリーンを設置済みである。</p> <p>●降雨の状況は毎年異なり、整備効果の発現状況の把握が困難であるため、雨天時放流水質が基準値内(BOD40mg/L以下)であることを確認する。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>調査日</th> <th>降雨量(mm)</th> <th>最大降雨強度(※)(mm/hr)</th> <th>平均放流水質BOD(mg/L)</th> <th>判定</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成26年10月21日</td> <td>11.0</td> <td>8.5</td> <td>15.4</td> <td>達成</td> </tr> <tr> <td>平成26年12月16日</td> <td>12.5</td> <td>2.0</td> <td>3.4</td> <td>達成</td> </tr> <tr> <td>平成27年1月6日</td> <td>11.5</td> <td>4.5</td> <td>3.7</td> <td>達成</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>平均</td> <td>7.5</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※最大降雨強度は、調査時間内の時間当り降雨量の最大値(気象庁アメダスデータ)</p>				調査日	降雨量(mm)	最大降雨強度(※)(mm/hr)	平均放流水質BOD(mg/L)	判定	平成26年10月21日	11.0	8.5	15.4	達成	平成26年12月16日	12.5	2.0	3.4	達成	平成27年1月6日	11.5	4.5	3.7	達成			平均	7.5												
調査日	降雨量(mm)	最大降雨強度(※)(mm/hr)	平均放流水質BOD(mg/L)	判定																																				
平成26年10月21日	11.0	8.5	15.4	達成																																				
平成26年12月16日	12.5	2.0	3.4	達成																																				
平成27年1月6日	11.5	4.5	3.7	達成																																				
		平均	7.5																																					
7. 事業の効率化に関する取り組み状況	<p>建設コストの縮減と早期供用開始を目的に雨水滞水池の容量を見直した。</p>																																							
8. 今後の方針	<p>事業の完了により、現状で改善目標は達成済みとなる。今後は、より一層の未処理放流回数の削減を図るため、雨水滞水池と処理場水処理施設への受入れ量の調整等を重点的に検討するものとする。</p>																																							